

同志社国文学

第 85 号

- 『源氏物語』女からの贈歌考……………風岡むつみ(1)
 ——花散里を例として——
- 『春記』の特徴と主題……………滝沢優子(15)
 ——功績録としての春記——
- 《善知鳥》小考……………家原彰子(25)
 ——地獄描写の表現をめぐって——
- 『宇治拾遺物語』における「夢」の分類……………趙智英(38)
- 石橋生庵の『家乗』と朝鮮……………邊恩田(54)
 ——紀州藩の儒官李真栄・李梅溪・李清軒をめぐって——
- 谷崎潤一郎「麒麟」再考……………李春草(67)
 ——漢籍との関わりから——
- 大逆の〈家／国〉という支配……………坂崎恭平(82)
 ——森鷗外「蛇」における反転する家族国家観——
- 椎名麟三作「約束」を読む／視る……………瀬崎圭二(96)
- 〈資料紹介〉『山王靈驗記』「頼豪阿闍梨絵巻」翻刻・注釈(上)
 ………………城阪早紀(111)
- 〈資料紹介〉翻刻『武家不断枕』(下)
 ………………山田和人・三宅宏幸・由留木安奈・早川広子(125)
- スペイン語版『伊勢物語』における Antonio Cabezas 訳の特徴
 ——「中将」「大将」など武官の官職名を端緒に——
 ………………雨野弥生(182)

2016・12

同志社大学国文学会